

一般社団法人 Blue Commons Japan 事業計画

第4期（2023年4月1日～2024年3月31日）

【はこだて海の教室】

1. 函館朝市ミニ水族館の運営
 - (1) 時期：2023年4月～2024年3月
 - (2) 場所：函館朝市内
 - (3) 対象者：小学生を中心とした観光客等
 - (4) 内容：水槽4基による海水魚・海藻の展示
2. 函館朝市ミニ水族館を生かした海洋教育の実施
 - (1) 時期：2023年5月～2024年2月
 - (2) 場所：函館朝市
 - (3) 参加者：45名（函館市近郊の若年層）
 - (4) 内容：
 - a. お魚お絵かき教室の開催
 - b. 水族館飼育員体験教室の開催
 - c. 中高生海洋教育講座の開催
3. 地域連携による海洋教育の実施
 - (1) 時期：2023年5月～2024年2月
 - (2) 場所：函館市近郊
 - (3) 参加者：50名（函館市近郊の若年層）
 - (4) 内容：
 - a. 函館の未利用海藻を学ぶ子ども海藻アカデミーの開催
 - b. 海中の魅力を海の発信者育成教室の開催
 - c. 海釣り教室の開催
4. 海洋教育推進会議の開催
 - (1) 時期：2024年2月
 - (2) 場所：函館市
 - (3) 参加者：100名（生徒、専門家等）
 - (4) 内容：
 - a. はこだて海の教室の成果報告
 - b. 海洋関係者と教育関係者等のネットワーク形成

【地域モデル事業】

1. キックオフイベント

- (1) 時期：2023年5月～2023年7月
- (2) 場所：函館市内
- (3) 参加者：北海道内の一般市民 500名
- (4) 内容：事業趣旨や2023年度の事業内容について説明

2. 飲食店・小売店・教育機関給食連携

- (1) 時期：2023年7月～2023年11月
- (2) 場所：北海道内の飲食店 50店舗、小売店 50店舗、小学校 12校
- (3) 参加者：20,000名
- (4) 内容：

a. 函館ブリたれカツのメニュー提供を通し、海に関する課題を発信

b. 海のごちそうフェス・ウィークとの連携

3. 「海のごちそう地域モデル」自走事例の開発・発信

- (1) 時期：2023年4月～2023年12月
- (2) 場所：北海道函館市
- (3) 参加者：函館市民及び観光客
- (4) 内容：

a. 函館朝市内のアンテナショップの運営

b. 修学旅行生、観光客向けコンテンツ開発

c. 海のごちそう地域モデル in 函館の事例マニュアル化

d. これまでの活動に関する冊子の作成

4. 企業連携によるブリの食品開発とメッセージ発信

- (1) 時期：2023年4月～2023年12月
- (2) 場所：北海道

参加者：北海道内の一般市民 5,300名

- (4) 内容：製造小売業者と連携をしたブリの食品開発

5. 海のごちそう地域モデル各事業との連携

- (1) 時期：2023年4月～2023年12月
- (2) 内容：

a. 「海のごちそう地域モデル」各事業との打ち合わせ

b. 新規ごちそう地域モデルエリアへの研修実施イア露出を積極的に取り組む。

【渚の交番運営事業】

1. 海と食の体験プログラムの開発

- (1) 時期：2023年7月～2024年3月
- (2) 場所：北海道函館市
- (3) 参加者：一般市民20名程度のテスト実施
- (4) 内容：キッチンを活用した、海と食の体験プログラム開発を実施。より簡単に函館をはじめとした北海道の食魅力に触れることのできる体験プログラム等の試行

2. コミュニティイベント企画

- (1) 時期：2023年7月～2024年3月
- (2) 場所：北海道函館市
- (3) 参加者：一般市民向け300人
- (4) 内容：渚の交番と函館市民をつなぐコミュニティイベントの企画。飲食店やキッチンを拠点として、新たなコミュニティ創造や、函館らしい立地を活かした様々な体験イベント等の試行

3. 渚の交番 in 函館の運営

- (1) 時期：2023年11月～2024年3月
- (2) 場所：北海道函館市
- (3) 参加者：市民及び観光客 約5,000人
- (4) 内容：拠点の円滑な運営に向けたスタッフの教育、業務オペレーション精査など、運営基盤の確立